

夢創造

▶ 六日(金)に授業参観、PTA例会、学級懇談を行いました。救急救命講習にも参加いただきました。



平成30年7月9日(月) no.10 文責：上田

災害に「近助」で備える

先週末からの西日本を襲った豪雨、その被害の大きさは驚嘆するばかりです。100名を超える方々がお亡くなりになり、多くの安否不明の方々がおいでです。テレビ・ラジオがくり返し伝える「大雨特別警報」という数十年に一度の災害の危険性を私たちは誤解していたのかもしれないことをまざまざと思い知らされました。被害に遭われた方々にお悔やみを申し上げます。

災害時『自助・共助・公助』という言葉をよく耳にします。まずは自分の命を守る判断・行動がもとめられます。自助があり、そして自助ができる共助が地域において大事になるかと思います。これこそ『近助』(近所)です。避難の際、近所に分かるようタオルを吊しておくという自治会があることを聞かれたかもしれません。日頃から防災・減災意識を地域でどう育むのかは、私たち一人一人の心がけ次第です。

前任校で熊本地震後に交流を続けていた岐阜の小学校の児童会が、何百枚と雑巾を送ってくれたことがあります。雑巾一枚一枚に、励ましの言葉が書き添えられていました。日頃から雑巾を作りためながら、被災地にできる支援を考えている小学生がいるのは心強いことだと感じますが、日頃から『近助』についても考えておきたいものです。



ヒゴタイ交流に向けて

7月22日(日)から8月12日(日)までの3週間、今年度のヒゴタイ交流(派遣)が行われます。また、7月に入り、中学部ではヒゴタイタイムでタイからの交流生の受入の際にも披露する「浦安の舞」「ヒゴタイ太鼓」等の練習も始まりました。(8月のヒゴタイ祭でも演じる予定。)

さて、ヒゴタイ交流(派遣)30周年の今年は、中学部の6名がタイを訪問します。タイ、カセサート校での交流に向け、御船町在住の福永さんによるタイ語の学習会を行うなど、派遣に向けた準備を進めています。また、今年の随行団は7月22日(日)から27日(金)までの期間にタイを訪問します。派遣30年という記念の年ということで随行団もいつもの年より多いとうかがっています。

ヒゴタイ交流は、学園の児童生徒にとって、まさにグローバル人材づくりにつながる異文化交流、国際理解を体感する機会です。



福永さん夫妻のタイ語講座